

大関のこども

9月前半号

R2校長室だより 第8号
令和2年 9月11日

HPアドレス
<http://www.ozeki.ed.jp>

感染防止・熱中症対策をしっかりと行い、
子どもたちの成長に向けて頑張ります！

校長 濱辺 弘一

異常な暑さの8月が終わり、本格的な学校行事を迎える9月になりました。9月4日には、震度5弱の大きな地震があり、その後も余震が続いています。大型の台風も日本列島を襲い、自然の猛威が気にかかる毎日です。このような予測不能な未来を生き抜くであろう子どもたちには、「**自分の命は自分で守る**」は、是非、身につけてもらいたい力となっています。

さて、5月から延期した運動会を、9月25日(金)に予定しています。特に6年生には、学校のリーダーとして、いろいろなところで活躍してもらいます。応援や係活動、運動会の準備や後始末など、下級生を引っ張りながら、自分たちも活躍してもらいたいと思います。それは、この経験が自分自身を成長させる原動力になることは間違いないからです。みんなの意見をまとめたり、運動会を成功させるための準備に奔走したり、たくさん大変だと思うことが待ち受けています。しかし、この壁を乗り越えたあとには、大きな達成感や満足感、そして何よりも、自分自身の心の成長が味わえるはずです。前号で紹介した『**51の成功と49の失敗の法則**』が示すとおり、挑戦する子どもたちにとって、未来を生き抜く力を身につける糧になるはずです。6年生を中心としたすべての児童の成長を全教職員で応援していきます。

コロナに負けない！
8つの約束

- ま** スクで守ろう、自分と相手
- け** んおんで、毎朝体温チェック
- る** ーを守って、コロナ予防
- な** やみがあれば、すぐ相談
- お** おきな声は、ひかえよう
- お** たがいの距離は、ソーシャルディスタンス
- ぜ** んいんで、しっかり手あらい30秒
- き** れいな空気、換気しよう

見違えるようなグラウンドに! PTA奉仕作業ありがとうございました!!

9月5日(土) 早朝より、約200人が参加してPTA奉仕作業が行われました。新型コロナウイルスの影響で9月に延期になった運動会が、安心・安全なグラウンドで行えるようにと、PTA学級委員会が企画・運営しました。4年生から6年生の児童もボランティアで参加し、親子で草取りをしました。熱中症対策をしっかりと行い、途中で水分補給タイムも設けて、みんなで頑張りました。見違えるようなグラウンドになり、運動会が楽しみです。暑い中での作業、本当にありがとうございました。



5年生の「自然教室」実施に向けて、保護者説明会を開催しました！

9月10日(木) 5年生の「自然教室」を10月に実施するに当たり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について、理解いただくために保護者説明会を行いました。どのように3密を防止して宿泊するのか。食事や入浴の際の対応はどのようになっているのか。芦原青年の家に打ち合わせに行き確認してきたことを、担任より説明しました。



応援グッズ・スローガンの制作、応援ダンスの振り付けに取り組んでいます!!

8日(火)から運動会に向けて、5・6年生の放課後の活動がスタートしました。応援団、5年生の応援グッズ制作、6年生のスローガン制作の3つに分かれて活動しています。6年生が考えた今年のスローガンは、「パワー全開！大関っ子の五輪(刈刈ッ) 2020」です。新型コロナウイルス感染防止を考えながら、自分たちで考えて工夫し、自分たちの手で創りあげています。



大関きさら独り言

運動会の練習・応援準備等が始まりました。「今は手遊びはしません！」「ここはこうしたらよくなるのでは？」と、注意したりアドバイスをした場面が多く見られます。そのときの子どもの態度から、その子の性格が推測されます。竹内エリカさんの『「いい性格」が育つお母さんの言葉』(PHP：のびのび子育て)から、こんな記事を見つけました。

心理学で「ピグマリオン効果」と呼ばれるものがあるのですが、これは、人は期待されるほど意欲がわいて成果を出すということ。子どもも「あなたならできるわ」と声をかけ続けられると能力が伸び、「ダメな子ね」と言われ続けると能力が落ちることが、実験からあきらかになっています。子どもの成長において絶対的に必要なのは自己肯定感です。あなたの言葉は、子どもにとって心の栄養であり、また自己肯定感の元となるもの。つまり、子どもがどう育つかは、親の言葉がけ次第と言っても過言ではありません。マイナス言葉がでそうになったら次の法則を実践してみましょう。

「ふくろうの法則」……ふくろうは英語で「OWL」と書きます。その文字の順に、
まず、子どもが今何を感じ、興味がどこにあるのかを観察 (Observe)、つぎに、子どもが何を考え、どのように行動するのかを待ち (Wait)、子どもに問いかけ、子どもの話に耳を傾ける (Listen)。こうすると、子どもの成長が見えて愛情が増し、マイナス言葉が出てこなくなります。